

まえがき

東京都福祉保健局では、「福祉改革」「医療改革」をさらに前進させ、確かな「安心」を次世代に引き継いでいくために、福祉・保健・医療分野の基本方針として「福祉・健康都市 東京ビジョン」（平成18年2月）を策定しました。

現在、東京は、かつて経験したことのないほど急速に高齢化が進展しており、団塊の世代が後期高齢期を迎える平成37年（2025年）には、高齢者人口が332万人に増加すると推計されており、都民の4人に1人が高齢者となる見込みです。

また、核家族化や就業環境の変化、近隣関係の希薄化などを背景に、結婚や子育てに関する価値観の変化などから少子化が急速に進んでおり、平成25年の合計特殊出生率は1.13人で、全国最低となっています。

このような中で、将来世代に確かな「安心」を引き継ぐためには、中長期的な視点に立って福祉・保健・医療サービスの充実に取り組むとともに、社会経済環境の急激な変化や震災等の緊急・突発的な事態にも迅速かつ的確に対応し、実効性のある施策の展開を図る必要があります。

そうした施策の企画立案に際しては、様々なデータを正確にとらえ、分析し、都民のニーズを的確に把握することが極めて重要であり、それらを活かし、不断の見直しに取り組んでいくことが不可欠です。

本書は、福祉・保健・医療行政の指標となる主要数値を掲載しております。施策の一層の充実に向けた検討を行うための基礎資料として、幅広く活用していただければ幸いです。

結びに、本書の作成に御協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

平成26年12月

東京都福祉保健局